

レオ・アドバンスメント・セッション

チーム作りの 実習



実習リスト

タイトル		内容	時間	言語	プリント	ページ
多人数（35人以上）でのアイスブレイカー						
1	私について	参加者は、各自のカードに書かれた情報に該当する人を全体の中から見つける。	20分	同一	✓	2
2	知り合いになろう	参加者は室内を回り、プリントに書かれた条件に合った人の名前を書き留める。	20分	同一	✓	3
3	人探し	参加者は、プリントに書かれた視覚的条件に当てはまる人を探す。	20分	混合	✓	5
小人数（35人未満）でのアイスブレイカー						
1	名前順	参加者は、それぞれのファーストネームの順に並んで大きな円を作る。	10分	同一		7
2	くじ引き	参加者は、帽子の中から引き当てた質問によって自己紹介を行う。	30分	同一		8
3	持ち主探しとグループ分け	参加者は、研究会の資料の持ち主を見つけて、小グループを作ることができる。	20分	混合		9
4	住んでいる町はどこ？	参加者は、研究会の開催地と各自の居住地の地理的關係に応じた室内の位置に立つ。	30分	同一		10
ウォーミングアップ						
1	右か左か	参加者は、講師の質問に対する答えによって、部屋の左右いずれかの側に移動する。	10分	同一		11
2	生きている年表	参加者は、講師が配ったプリントを用いて、会話を交わしながらライオンズの歴史年表を作る。	30分	同一		13
3	リーダーは誰？	一人の参加者が円の中心に立ち、動作を始めているリーダーを見つける。	10分	混合		16
最初の実習						
1	魔法のステップ	参加者はチームとして協力し、地点 A から地点 B へと移動する。この実習には大きなスペースが必要である。	55～60分	同一		18

私について

概要

このアイスブレイカーでは、書かれた自己紹介に該当する人を全体の中から見つける。

目的

アイスブレイカー – 親睦/紹介

時間

20 分

適切な参加者数

20～75 人

（この実習は同一言語のグループに最適である。）

必要なもの

- 参加者各 1 枚の白紙のカード
- 参加者各 1 本のペンまたは鉛筆
- 広いスペース

手順

1. 1 枚のカードに、自分に関する 3～5 つの事実を書くよう、参加者に求める。
事実の例：
 - レオクラブに入会した年は？
 - 所属レオクラブ名は？
 - レオクラブ例会の日時と場所は？
 - 所属する地区は？
2. カードを混ぜ合わせ切ってから配布する（参加者がそれぞれ、別の誰かが書いたカードを持っているようにする）。
3. 参加者を立たせ、自分が持っているカードを書いた人が見つかるまで、互いに自己紹介を行わせる。
4. 全員がそれぞれの相手を見つけたら、着席させて次の実習に移る。
5. オプション：時間が許せば、手順 1 で参加者に複数のカードを持たせてもよい。そうすれば、参加者は複数の相手を見つけなければならない。

知り合いになろう

概要

この実習では、参加者に部屋中を回らせ、「知り合いになろう」ワークシートに書かれた条件に合った別の参加者の名前を書き留めさせる。

目的

アイスブレイカー – 親睦/紹介

時間

20 分

適切な参加者数

10～75 人

（この実習は同一言語のグループに最適である。）

必要なもの

- 「知り合いになろう」ワークシート

手順

1. 各参加者が「知り合いになろう」ワークシートを持っていることを確認する。
2. 参加者に、ワークシートの条件に当てはまる別の参加者を見つけさせる。
3. その人物の名前を書き留めさせる。
4. 全員がワークシートを完成させたら、着席させる。

知り合いになろう

手順：部屋中を回り、以下の条件に合った仲間の名前を書き留めてください。同じ人の名前は一度しか使えません。

以下に当てはまる人を見つましょう		[名前]
1. レオになってからの年数が自分と同じである。		
2. クラブ幹事である。		
3. クラブの奉仕活動のリーダーになったことがある。		
4. 来年度のクラブ会長になることを目指している。		
5. レオになることで人生が変わった。		
6. 所属会則地域のレオ・フォーラムに参加したことがある。		
7. www.lionsclubs.org を見たことがある。		
8. 国際大会に参加したことがある。		
9. レオになってからの年数が5年以上である。		
10. 自分と同じ日に例会が行われる。		

人探し

概要

この実習では参加者に、「人探し」ワークシートに書かれた視覚的条件に当てはまる別の参加者を探させる。

目的

アイスブレイカー – 親睦/紹介

時間

10～15 分

適切な参加者数

10～75 人

（この実習は、複数の言語を交えた環境で行うことができる。その場合、参加者全員にそれぞれの言語で説明できるよう、追加の時間が必要となる。）

必要なもの

- 「人探し」ワークシート

手順

1. 各参加者が「人探し」ワークシートを持っていることを確認する。
2. 参加者に、ワークシートの条件に当てはまる別の参加者を見つけさせる。
3. 全員がワークシートを完成させたら、着席させる。

人探し

説明：以下の説明に当てはまる 5 人の参加者を見つけてください。全員が違った国の人になるようにします。各参加者の名前と国をこの用紙に記入してください。

	[名前]	[国]
1. 背丈が自分と同じである。		
2. 着ている服の色が自分と同じである。		
3. レオのピンをつけている。		
4. 腕時計か宝石を身につけている。		
5. 自分とは違う国に住んでいる。		

名前順

概要

この実習は、参加者が互いを知らない場合に適している。

目的

アイスブレイカー – 紹介

時間

10～15 分

適切な参加者数

35 人まで

（この実習は同一言語のグループに最適である。）

必要なもの

- なし

手順

講師の留意事項：この実習は、屋内または屋外の広々とした場所で行う必要がある。

- 参加者が名札を付けている場合には、この実習の前にそれらを外しておくよう指示する。
- 「これから行う実習は、研究会に参加している仲間の名前を早く覚えるために役立つはずです」と指摘する。
- 参加者を立たせて円を作らせ、次のように指示する。
 - 私から始めて、一人ひとりが全員に聞こえる大きな声で自分のファーストネームを叫びます。
 - 誰かの名前が聞こえなかった時には、「もう一度！」と叫んでください。これも大きな声でお願いします。
 - 「もう一度！」と言われたら、最初の時よりも大きな声でもう一度名前を叫んでください。
 - 何か質問はありますか？
- 全員が名前を言ったら、さらに次のように指示する。
 - これで、全員の名前が分かりました。それでは次に、名前がアルファベット順になるように、円を作り直してください。
 - 話したり、身振りや手振りを使ったり、身分証明書を見せたりしてはなりません。
 - 指差す、位置を変えさせるなどの助け合いはかまいません。
- 全員が移動して円が作り直されたら、第 1 ラウンドは終了である。
- 正しい順番になっているかを確認するため、参加者に再度各自の名前を言ってもらう。
- 順番が間違っていたら、全体で第 2 ラウンドを行わせ、その後も円が完成するまで続けさせる。
（私たちの情報源によれば、大半のグループは 4 ラウンド以内に円を完成させられる！）

出典：カール・ローンキー著。 Quicksilver. Dubuque, Iowa: Kendall/Hunt Publishing Company, 1995. p.172-174.

くじ引き

概要

この実習では参加者に、帽子から引き当てた質問によって自己紹介を行わせる。

目的

アイスブレイカー - 紹介

時間

20 分

適切な参加者数

10～30 人

（この実習は同一言語のグループに最適である。）

必要なもの

- 質問を書いた個々のカードまたは紙片を帽子に入れて混ぜる。

手順

- 以下のような質問を書いたカード/紙片を帽子または箱に入れる。（参加者につき 1 枚以上になるようにする）
 - あなたのクラブは、地域社会でどのようなイメージを持たれていますか？
 - あなたのクラブで変えたいと思うことを説明してください。
 - あなたのクラブは、どのようにやり方を変えるべきでしょうか？
 - レオとしての最大の成果は何でしょうか？
 - 理想の人物は誰ですか？ その人とあなたの共通点は何でしょうか？
 - 自分で選べるとしたら、どんな名前になりたいですか？
 - あなたを最もイライラさせる人のタイプと理由を教えてください。
 - 無人島に行くとしたら、誰を連れて行きたいですか？
 - 自分を変えたい点を一つ挙げるとしたら、それはどのようなことでしょうか？
 - 自分の絶対に変えたくない点を一つ挙げるとしたら、それはどのようなことでしょうか？
 - 休暇に出かけるお勧めの場所と、その理由を教えてください。
 - 自分の墓碑銘はどのようにしたいですか？
 - 好きな慈善事業は何ですか？
 - レオであることで気に入っている点は何でしょうか？
 - お気に入りのレオの奉仕行事は何でしょうか？
 - 理想の家について説明してください。
 - プロの歌手であるとしたら、どんな歌を歌いますか？
 - 自分にどんな才能があればいいと思いますか？
 - 別の研究会に出席するとしたら、希望する開催地とその理由を教えてください。
 - あなたの親友の特別な点を教えてください。
- 「一人ずつ前に出て名前を言い、質問を引き、それに答えてください」と指示する。

出典：カール・ローンキー著。 [Quicksilver](#). Dubuque, Iowa: Kendall/Hunt Publishing Company, 1995. p.172-174.

持ち主探し

概要

この実習では参加者に、研究会の資料の持ち主を見つけさせる。

目的

アイスブレイカー – 親睦/紹介

時間

約 20 分。参加者が時刻通りに会場に到着するかによる。

適切な参加者数

10～75 人

（この実習は、複数の言語を交えた環境で行うことができる。その場合、参加者全員にそれぞれの言語で説明できるよう、追加の時間が必要となる。）

必要なもの

- 参加者の氏名がはっきりと書かれた研究会の資料のフォルダーまたは袋。

手順

1. 部屋に入ってくる参加者に、別の参加者の名前が書かれたフォルダーまたは袋を一つずつ渡す。
2. 部屋中を回って他の参加者と会話を交わしながら、フォルダーまたは袋の持ち主を見つけて互いに自己紹介を行うよう、参加者に指示する。
3. 全員が自分のフォルダーを手に入れたら、研究会を開始する。

住んでいる町はどこ？

概要

この実習は地理的な位置関係に基づいて行われ、広いスペースが必要である。

目的

アイスブレイカー－親睦/紹介

時間

10～15 分

適切な参加者数

10～75 人

（この実習は、複数の言語を交えた環境で行うことができる。その場合、参加者全員にそれぞれの言語で説明できるよう、追加の時間が必要となる。）

必要なもの

- なし

手順

講師の留意事項：この実習は、屋内または屋外の広々とした場所で行う必要がある。

1. 部屋の中央に講師自身が立つか、何かものを置くことで、研究会の開催地に見立てる。「ここが研究会の開催地で、この方角を北としましょう」と述べる。
2. 研究会の開催地・設定した方角と各自が住んでいる町の位置関係に応じて、室内の適切な場所に立つよう、参加者に指示する。縮尺については特に指定しない。
3. 最も近い人に話しかけ、以下のような私的な情報を伝えるよう、参加者に指示する。
 - 自宅のある場所
 - 所属クラブ名
 - 家族、趣味、ペットなどの私的な情報

右か左か

概要

この実習では、参加者に左右のどちらかを選ばせることで、各自に関する情報を伝えさせる。参加者は、講師の質問に対する答えによって、部屋の左右いずれかの側に移動する。最初の自己紹介またはアイスブレイカーの後に行うことが適切である。

目的

ウォーミングアップ/エナジャイザー

時間

10分

適切な参加者数

100人まで（100人を超える場合には、マイクを使うとよい。）

必要なもの

- なし

手順

講師の留意事項：この実習は、屋内または屋外の広々とした場所で行う必要がある。

1. 部屋の中央に集まるよう、参加者に指示する。
2. 参加者に次のように説明する。
 - これから皆さんに質問をしていきます。その内容は、もう少し互いを知り合うために役立つでしょう。
 - どの質問にも、正反対の二つの答えがあります。質問をした後で、どちらの答えの人が部屋の左側に移動し、または右側に移動するかを教えます。
 - 私が質問をして、二つの正反対の答えを言った後で、自分に当てはまると思う答えを選び、適切な側に移動してください。どちらとも言えない場合には、中央に残ってもかまいません。
 - 何か質問はありますか？
3. 以下の質問をする。進め方や参加者の特徴に合わせて、正反対の答えを変えたり、別の質問を加えてもよい。

質問	部屋の右側	部屋の左側
あなたはどちらのタイプですか？	朝型	夜型
休暇を取って遊びに行くとしたらどこに行きたいですか？	浜辺	山
どれくらいおなかが空いていますか？	ぺこぺこ	満腹
あなたが有名人であるとしたら、どちらになりたいですか？	マドンナ	ヘレン・ケラー
飲むとしたらどちらを飲みたいですか？	カフェイン抜き飲み物	カフェイン入りの飲み物
ペットを飼っていますか？	飼っている	飼っていない
あなたの利き手はどちらですか？	右利き	左利き
ウィンクする時は普通どちらの目を使いますか？	右目	左目
コインが落ちていたら拾いますか、拾いませんか？	拾う	拾わない
あなたはシートベルトを着用しますか？	着用する	着用しない
封筒を開ける時、あなたが使うのは...？	レターオープナー	封を破いて開ける
レオになって何年ですか？	__年未満	__年以上
毎月何時間、所属レオクラブの活動に費やしますか？	10 時間未満	10 時間以上
もっと手に入るとしたら、どちらがいいですか？	時間	お金
あなたの考えでは、指導力とは...？	持って生まれるもの	養うことのできるもの
この研究会に参加して、どう感じていますか？	不安	期待

生きている年表

概要

この実習では、参加者は会話を交わしながら、ライオンズクラブ国際協会の重要な歴史的出来事の時期を学ぶことができる。

目的

ウォーミングアップ/エナジャイザー

時間

30 分

適切な参加者数

30 人まで（30 人を超える場合には、マイクを使うとよい。）

必要なもの

- 「年表」のプリント（30 枚のシートに歴史的出来事を一つずつ記載）

手順

講師の留意事項：この実習は、屋内または屋外の広々とした場所で行う必要がある。

- 参加者に「年表」のプリントを 1 枚ずつ配布する。
- 参加者に次のように説明する。
 - お手元のプリントには、ライオンズクラブ国際協会の重要な歴史的出来事の時期が書かれています。
 - 正しい順序で並び、ライオンズクラブ国際協会の年表を作ってください。
 - 正しい順序で並べたと思ったら、各自の情報を読み上げていただきます。
 - 何か質問はありますか？
 - 講師の留意事項：**部屋の一方の端を 1917 年に、反対側を今年度に指定する。
- 参加者に 5～7 分を与えて、正しい順序で並ばせる。必要であれば手を貸す。
- 参加者に各自の情報を読み上げてもらう。
- 時間が許せば、以下の質問を使って実習をまとめるとよい。
 - 何か新しい知識が得られたでしょうか？
 - ライオンズクラブ国際協会の歴史を知るとは、あなたやクラブにどのような影響を及ぼすでしょうか？
 - ライオンズクラブ国際協会の歴史を知るとは、なぜ重要なのでしょうか？

歴史的出来事

1917年6月7日

シカゴ、ラサールホテルでの会議。

目的：人道奉仕を目的とする協会の創設。

主催者：シカゴ・ビジネス・サークルの幹事、メルビン・ジョーンズがいくつかの組織に参加を呼びかける。

1917年10月8、9、10日

ダラスにおける第一回大会。22クラブの代表が参加。会則を採択。

「ライオンズ」の名称を承認。

目的と道德綱領を起草。

ウィリアム・ウッズ博士を初代会長に選出。

1917年以来の指針原則：

「クラブはその内規、会則、またはその他により、会員の財政的利益の向上を目的に掲げないものとする。」

協会の国際化

1920年、カナダのオンタリオ州ウィンザーに米国以外で初のクラブが結成される。

1919年、シカゴ大会。スローガンー

Liberty（自由を守り、）

Intelligence（知性を重んじ、）

Our（われわれの）

Nation's（国の）

Safety（安全をはかる）

1920年、ローザ・ボヌールの絵を紋章として採用。

1925年、ライオンズの新たな挑戦

ヘレン・ケラーがライオンズに「盲人の騎士」となるよう要請！それ以来、視力関連事業はライオンズの活動の中心となる。

拡大を続けるライオンズ

1927年 メキシコ初のクラブ

10周年には

クラブ数 2,200、会員数 80,000 人

1928年、新たな本部

1928年まではシカゴのメルビン・ジョーンズのオフィスが本部として使われていた。

米国イリノイ州オークブルックの現在の本部は 1971 年に設置。

1937年、シカゴ大会

クラブが1月を「創設者と原点回帰」の月にしようと呼びかける。1月13日はメルビン・ジョーンズの誕生日である！ この伝統は現在まで続いている。

1945 年、ライオンズ国連に参加

ライオンズはサンフランシスコ会議の開催に積極的に関与。

1948 年、ヨーロッパ初のクラブ

スウェーデンのストックホルム - 数日後、スイスのジュネーブがこれに続く

1954 年、ニューヨーク大会

モットーに「ウィ・サーブ」を採用。

1961 年、創設者死去

6 月 1 日：メルビン・ジョーンズ死去

国際協会の新たな側面

1967 年 レオクラブを正式にライオンズのプログラムとして認定

1968 年 ライオンズクラブ国際財団の設立

1972 年 会員数が 100 万人に到達

1975 年 ライオネスクラブを正式にライオンズのプログラムとして認定

歴史的発展

1987 年、台北大会で**女性**に入会を認める会則改正を採択。

1988 年、ライオンズ国際平和ポスター・コンテストを開始。

1996 年 4 月 12 日、**5,000 番目のレオクラブ**（南米、コロンビア）が国際協会に参加。

1990 年、ライオンズクラブ国際財団が予防および回復可能な失明と闘う 1 億 4,350 万ドル規模の世界的取り組み、**視力ファーストを開始**。視力ファーストを通してこれまでに 220 万件余りの白内障手術が行われ、毎年 400 万人を超える河川失明症患者が治療を受けている。

1994 年、先進国の人々に緑内障と糖尿病性眼病に関する情報を提供するため、視力ファーストによって**ライオンズ・アイヘルス・プログラム (LEHP)** を開始。

1999 年、中華人民共和国を対象に 5 年間の失明予防プログラムを開始。

視力に関するジミー・カーター元大統領との協力—1999 年、ライオンズは河川失明症とトラコーマの根絶を目指し、ジョージア州アトランタでカーター・センターとのパートナーシップを締結。

2014 年 7 月～2018 年 6 月、各地域社会を改善し、目に見える永続的なライオンズのレガシーを残そうとする 100 周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトを遂行。

2015～2016 年度、2020～2021 年度までに年間の奉仕受益者数を **2 億人**にすることを目指し、奉仕のインパクトを高める 5 カ年戦略計画、LCI フォーワードを導入。

2017 年 6 月、米国イリノイ州シカゴでライオンズ 100 周年を記念。

2018 年、ライオンズクラブ国際財団 **50 周年**を記念。

2018～2019 年度、ライオンズ、初の女性国際会長**グドラン・イングバドター**を選出。

リーダーは誰？

概要

一人の参加者が円の中心に立ち、動作を始めているリーダーを見つける。

目的

ウォーミングアップ/エナジャイザー

時間

10分

適切な参加者数

20～30人

- この実習は言語の数を問わず行うことができる。（説明を各言語に翻訳するため、追加の時間が必要となる。）

必要なもの

- なし

手順

1. 参加者を立たせて、または座ったままで円を作らせる。
2. 希望者を一人選び、円の中央に立たせる。
3. 次のように説明する。
 - 円の中央にいる方は、私が目を閉じるように言ったら、目を閉じてください。
 - 目を閉じている間に、私が円の誰かを指差して、リーダーを選びます。リーダーを引き受けてくださる場合には、頷くことで知らせてください。
 - リーダーの仕事は、他の皆さんに一連の動作を教えることです。
 - これは言葉を使わず、他の人にしてほしいことを実演して教えます。例えば、手をたたき、こすりあわせてから、お腹をなでる、などの動作です。
 - 中央の人に誰がリーダーか気付かれないようにしながら、動作を変え続けるようにしてください。
 - リーダーはいつでも動作を変えることができ、中央の人が見ている時でもかまいません。
 - 残りの皆さんは、誰かが動作を変えるのを見るまで、それまでの動作を続けます。動作が変わったのを見たら、スムーズに新しい動作を始めてください。

- リーダーを見る必要はなく、誰を見てもかまいません。誰かが動作を変えるのを見れば、リーダーが動作を変えたことが分かるでしょう。
- 中央の人がリーダーを見つけるか、間違った答えを出すまで、ゲームは続きます。中央の人が正しい相手を選んだら、それまでのリーダーが中央に立ち、次のラウンドに入ります。中央の人が間違った相手を選んだら、別の2人を選んで、次のラウンドを始めます。」

4. 実習を開始し、何回繰り返すかは講師が決める。

まとめの質問

- 中央の参加者に対して：
 - 「リーダーと他の人たちはどうやって見分けましたか？」
 - 「ゲームの間に戦略を変えましたか？変えたとしたら、それはなぜでしょうか？」
 - 「実習の間、どのように感じましたか？」
- 動作のリーダーに対して：
 - 「中央の人に気付かれないでいるために、リーダーとしてどんなことをしましたか？」
- 他の参加者に対して：
 - 「リーダーが中央の人に気付かれないようにしながら、どうやって動作をまねしましたか？」
 - 「一緒に動作を楽しみながら、このグループの一員であることをどのように感じましたでしょうか？」

魔法のステップ

概要：

この実習を終えた時、参加者はリーダーに必要な資質とチームの有効性への理解を深めているはずである。

ここでの基本的な枠組みは、地点 A から地点 B へと、間の地面に触れることなく移動することである。参加者は地点 A に集められ、その人数よりも一つ少ない道具を与えられる。（例えば、9 人であれば 8 枚の木のボードなど。）その上で、チーム全員が無事に地点 B にたどりつくよう指示される。

目的

最初の実習

時間

55～60 分

適切な参加者数

30～40 人を 15～20 人の 2 つのグループに分ける。

この実習は、実際には 4～15 人で行うと最も効果的である。その他の参加者には、静かに観察する役割を与えることができる。実習を行う人数が増えれば、必要なスペースも増えることになる。

（この実習は同一言語のグループに最適である。）

必要なもの

川の兩岸を示す 2 本のロープまたはテープ

実習の参加者が一つずつ持つ道具：

- 木のボード（約 50cm）、または
- タイルカーペット、または
- 切った段ボール

手順

手順 1：道具と兩岸を用意する。

1. 各ボードの周りにテープを貼ることにより、セッションの前に魔法のステップを用意する。
2. 各ボードにリーダーとしての資質を記入する。
3. 兩岸の位置を定める。兩岸は一般に、その間を渡るために参加者が道具を繰り返し使わなければならないよう、十分に離して設けるべきである。通常、片方の岸 A から道具を直線状に並べていき、さらに 3～5 フィート（91.4～152.4 cm）のスペースを加えた場所に、対岸 B を置くとよい。こうしておけば、参加者は無事に渡るために協力して道具を使い、一部は 2 回使わなければならない。

手順 2：実習を行う参加者を選ぶ。

1. 全体を 15～20 人のグループに分ける。
2. 実習を行う参加者を決める。
 - この実習の希望者に手を挙げさせる。手を伸ばしたり身体を曲げたりなど、身体を使う必要があることを説明するとよい。実習を行わない参加者にも役割があることを説明する。
 - 注：この実習のために用意された魔法のステップの数によって、実習者の人数も決まる。ステップの数よりも 1 人多く、実習者を選ぶことができる。例えばステップが 10 の場合には、11 人の希望者を選ぶ。希望者が 11 人に満たない場合には、この手順の後で、チームにステップを減らすよう指示することになる。
3. 希望者に感謝し、観察者に次のように説明する。
 - 実習を行わない人は、観察者の役割を担っていただきます。実習の間は、話したり、指差したり、合図したりしてはなりません。ただし、実習者のやり取りを観察し、それを説明する準備を整えてください。

手順 3：物語と実習者が従うルール

1. 以下の物語を実習者に伝える。（物語は自由に変えてもかまわない。）
 - 皆さんは、昨日の国の部族です。族長は一つしかないボート（一人乗りのボート）に乗り、機会の川を渡って明日の国へと行ってしまいました。族長は、『明日の国は未知の世界ではあるけれど、一人ひとりに夢にも見なかったような繁栄、成功、富を与えてくれる』と言い置いて、皆さんが機会の川を渡れるよう、魔法のステップを残してくれました。（ステップのタイトルを紹介する。）ただし、いくつか守らなければならないルールがあります。

ルール

- 部族が持てるステップは x 個で、即座に選ばなければならない。
 - ステップは、常にしっかりとつかんでいなければならない。たとえ一瞬でも手を緩めると、それは川に飲み込まれてしまう。
 - 部族全員が川を渡らなければならない。一人ひとりが、明日の国で必要になる特別な技能を持っているからである。
 - チームの誰かが川に「触ったり落ちたり」してしまうと、チームは昨日の国に送り返されてしまう。
 - できるのは先に進むことだけである。
 - 参加者の安全に常に気を配らなければならない。チームの安全が脅かされるなら、チームは昨日の国に送り返されてしまう。
 - 旅の時間は 15 分である。（講師は、それぞれの状況に応じてこの時間を短縮または延長できる。）
2. 参加者に 2 分を与えて、旅に持って行ける魔法のステップを選ばせる。（前述のように、彼らは実習者の総数よりも一つ少ない数のステップを持つことができる。例：10 人 = 9 個）
 3. 実習者が計画を立てている間にメモを取り、まとめの段階で観察したことを伝えてもよい。
 4. 実習者に次のように伝える。
 - それでは、3～5 分で旅の計画を立ててください。何か質問はありますか？
 5. チームに 3 分を与えて計画を立てさせる。観察したことをメモする。3 分が経過したら、もう 2 分ほしいか尋ねる。
 6. 計画の時間が尽きたら、実習へと進ませる。

ステップ 4：実習の間：

1. 明日の国への移動を始めるよう指示する。安全が脅かされていないか注視する。チームが安全でないステップに乗ろうとしたら、それを止める。
2. チームの誰かが魔法のステップを手放してしまったら、それを取り除く。
3. 場合によっては、やり直させる必要が生じる。
4. 彼らが旅をしている間にメモを取り、まとめの段階で観察したことを伝えてもよい。

ステップ5：まとめ

オプション1：

1. チームの努力を称え、以下の質問を使って彼らの体験をまとめる。質問の時間の開始時または終了時に、講師が観察したことを伝えてもよい。
 - 「ボードに貼られていたラベルにはどのような効果があったでしょうか？」
 - 「皆さんが川を渡りたいと思ったのはなぜでしょうか？」
 - 「明日の国のイメージを族長が教えてくれていなかったとしたら、どうでしょう？行こうと思ったでしょうか？」
 - 「明日の国への旅をもっと容易にするために、族長には何ができたでしょうか？」（橋を架けるなど）。
 - 「族長が最初に行ってしまったのはなぜでしょうか？」
 - 「どなたか、昨日の国に残ってもかまわないと思いましたか？」
 - 「立てた計画は役に立ったでしょうか？」
 - 「途中で計画を変えたことは、チームにとって妨げとなったでしょうか、それとも役に立ったでしょうか？」
 - 「皆さんが使ったコミュニケーションの取り方の中で、どれが効果を発揮したでしょうか？」
 - 「信頼はどんな役割を果たしたでしょうか？」
 - 「チームを支援し、または励ます力が最も優れていた人は誰でしょうか？彼らがそうしたのはなぜでしょうか？それはどのようにチームを支援し、または妨げたでしょうか？」
 - 「実習の間にリーダーの役割を引き受けたのは誰でしょうか？それはなぜでしょうか？」
 - 「リーダーシップが発揮された、と言える行動は何だったでしょうか？」
 - 「このグループの中でリーダーの役割を引き受けるのは難しかったでしょうか？それはなぜでしょうか？」
 - 「優れたリーダーの特徴と資質は何でしょうか？」
 - 「計画を立てている時や川を渡っている間に新しいアイデアや、異なったアイデアを思い付いた人を、チームはどのように扱ったでしょうか？」
 - 「皆さんは全員が、族長のビジョンを受け入れたでしょうか？」（はい/いいえ）

オプション2：

1. 全員に魔法のステップを一つずつ配る。以下のように質問する。
 - 「チームの誰かがこれらの資質を発揮するのを見たでしょうか？」
 - 「それはどのようにチームの役に立ったでしょうか？」
 - 「レオのリーダーにとって、この資質はどのように重要なのでしょうか？」
2. 講師の観察したことを伝える。